

## お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組状況について

株式会社 秋田銀行（頭取 新谷 明弘）では、お客さま本位の業務運営の徹底をはかるために「お客さま本位の業務運営取組方針」（以下、「取組方針」という。）を制定しております。

このたび、当行の取組方針に基づく取組状況として、具体的な取組内容および取組状況を客観的にご確認・評価いただくための指標〔K P I<sup>(注)</sup>〕を別記のとおり公表いたします。

当行では、今後も取組方針に基づく取組状況について定期的に検証のうえ、お客さま本位の業務運営のさらなる定着と改善をはかってまいります。

（以 上）

（注） K P I : Key Performance Indicatorの略称で成果指標を表す。

2021年6月29日

## お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組状況について

秋田銀行では、お客さま本位の業務運営の徹底をはかるため制定した「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）取組方針」（以下、「取組方針」という。）を踏まえ、取組方針に対する具体的な取組みの内容および、取組方針に基づく活動を客観的に確認・評価する指標〔KPI（注）〕を定期的に公表しております。

（注） KPIとは、「Key Performance Indicator」の略称で、成果指標を表しております。

### 1 お客さまの最善の利益の追求

- 秋田銀行では、お客さまの最善の利益を実現するため、金融機関としての知見を活用し、お客さまのニーズやご期待にお応えする商品・サービスのご提案を行っております。
- また、中期経営計画にてお客さまに寄り添ったコンサルティング営業の定着を経営の最重要課題として取り組んでおります。
- 取組みについては、投資信託の保有顧客数や平均保有期間等の各種指標により、常に経営陣が進捗状況を把握し、改善をはかっていく態勢としております。

### 2 利益相反の適切な管理

- 利益相反とは、秋田銀行（秋田銀行のグループ会社を含む。）とお客さまとの間でお互いの利益が相反する状況をいいます。当行では、「利益相反管理方針」を制定し、利益相反となる可能性のある対象取引を特定し、適切な管理を行っております。
- 各種商品の販売にあたっては、お客さまの利益を最優先に考えた営業活動を行えるよう、営業活動の評価を手数料率の多寡を加味しない一律の評価としております。
- また、営業活動の結果については、本部によるモニタリングを通じて適切な管理を行っております。

### 3 手数料等の明確化

- 秋田銀行では、投資信託の販売手数料について、下表のとおり投資対象ごとに統一した、分かりやすいシンプルな体系としております。

なお、お客さまの資産形成に向けた取組みを進めていくため、長期分散投資に適した「バランスファンド」の手数料については、投資金額や購入チャネルを問わずノーロード（無料）としています。

#### ■投資信託の対面販売における手数料体系

投資対象	販売手数料（消費税込）
バランスファンド	無 料（0%）
株式ファンド	2.20%

### 4 重要な情報の分かりやすい提供

- 秋田銀行では、目論見書、商品概要書、各種レポート等の運用会社や保険会社が作成した資料以外に、「資産運用商品ラインナップ」や「安定的に資産をそだてる『長期分散投資』のススメ」など、当行独自の情報提供資料（チラシ等）を制定し、お客さまのニーズに合わせて異なる商品カテゴリーで比較検討いただけるよう情報提供を行っております。
- また、各種セミナーをオンラインで開催しているほか、長期・積立・分散投資の重要性をお伝えするオリジナル動画を制作し、ホームページへの掲載や店頭ロビーで放映するなど、コロナ禍における新しい生活様式の中でも、お客さまに分かりやすい情報提供を行っていくための工夫を進めております。

#### ■当行独自の情報提供資料（サンプル）

○資産運用商品ラインナップ ○「長期分散投資」のススメ ○〈あきぎん〉各種ラインナップ 等  
お客さまのお考えにあった商品をお選びください。

The image displays several informational materials from Aomori Bank:

- Asset Management Product Lineup Table:** A table with columns for 'Personal Pension', 'Foreign Investment', 'Balance Fund', 'Equity Fund', and 'Life Insurance'. It lists various products like 'Aomori Pension Plan' and 'Aomori Global Fund' with their respective features and risk levels.
- 'Long-term Diversified Investment' Guide:** A document titled '秋田銀行 安定的に資産をそだてる『長期分散投資』のススメ' (Aomori Bank: Recommendation for 'Long-term Diversified Investment' to Stably Grow Assets). It includes charts and text explaining the benefits of long-term investing.
- 'Life Insurance Lineup' Flyer:** A flyer titled '一時払生命保険ラインナップ 相補・贈与タイプ' (One-time Payment Life Insurance Lineup: Mutual and Gift Types), highlighting the importance of life insurance for family protection.
- 'Investment Trust Lineup' Flyer:** A flyer titled '〈あきぎん〉投資信託ラインナップ' (Aomori Bank Investment Trust Lineup), providing details on various investment trusts available for purchase.

## 5 お客さまにふさわしいサービスの提供

- 投資信託ラインナップについては、長期分散投資による資産形成をお客さまに分かりやすくご提案するために常に見直しを行っており、対面での取扱商品については「バランスファンド」と「株式ファンド」のシンプルな構成としております。
- お客さまの目標資産額と運用予定期間をベースとした必要利回りにもとづく「ゴールベースアプローチ」による提案を推進しており、リスクを抑えた「バランスファンド」と、リターンを求める「株式ファンド」をあわせる、分かりやすいポートフォリオ提案を行っております。
- 商品ラインナップの整備においては、安定的な資産形成に資する商品を選定、採用しており、採用にあたっては「新規商品等審査規程」にもとづき厳正な審査を行っております。
- また、商品が当初想定した購入者層へ販売されているかなどの状況について検証し、定期的に経営陣に報告するなど、適切な評価・見直しを行う仕組みとしております。
- 投資が初めてのお客さまやご高齢のお客さまには、投資目的や資産運用ニーズ等を十分に把握したうえで、リスク許容度等に応じた適切な商品やサービスの提案を行っており、特にご高齢のお客さまについては「高齢者取引ルール」を定め、厳正な取扱いとしております。

## 6 職員に対する適切な動機づけの態勢

- 秋田銀行では、お客さま本位の営業活動の動機づけとなるよう、お客さまに対する提案活動を評価の対象としているほか、商品の販売については投資信託、生命保険などの商品種類や手数料率の多寡を加味しない全商品一律の評価とすることで、お客さまのニーズに沿った活動の成果が等しく評価される仕組みとしております。
- リテール研修をはじめ各種の研修や教育の機会において、お客さま本位の業務運営についてのカリキュラムを必須で盛り込んでいるほか、長期分散投資の重要性を学ぶ動画コンテンツを導入するなど、従業員の動機づけの機会を増やす取組みを進めています。

## 成果指標（KPI）

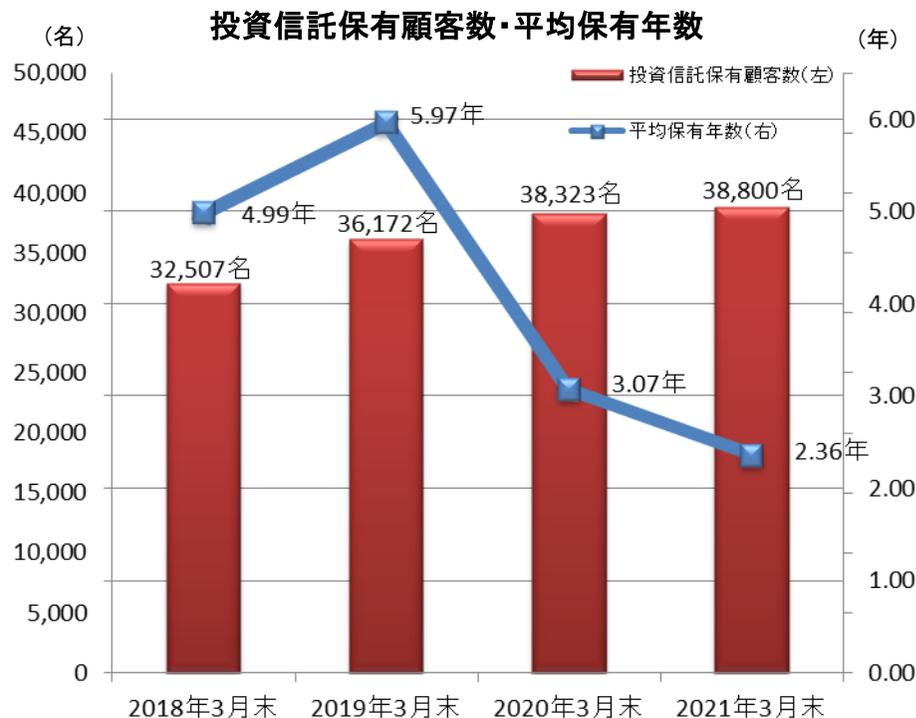
---

- 投資信託保有顧客数・平均保有年数
- 積立投信契約者数・NISA口座数・iDeCo契約件数
- 投資性商品の販売上位商品
- 投資信託の保有者運用損益別割合〔共通KPI〕
- 投資信託商品のリターン実績（コスト・リターン）〔共通KPI〕
- 投資信託商品のリターン実績（リスク・リターン）〔共通KPI〕
- 投資信託預り残高上位20銘柄〔共通KPI〕

（注） 共通KPIは、2018年6月に金融庁が公表した「投資信託販売会社における比較可能な共通KPI」に基づく指標です。



- 当行を通じて投資信託を保有していただいているお客さまは、2021年3月末において38,800名となり、前年度に比べ477名増加しました。
- 一方で、2021年3月末における投資信託の平均保有年数は2.36年と前年度に比べ0.71年短縮する結果となりました。
- 2020年度前半は新型コロナウイルス感染拡大等によるマーケット下落の影響を受け、投資信託残高は減少傾向となっていました。2020年度後半は日経平均株価が3万円台に突入するなど相場回復し、利益確定等の解約が増加したことによるものです。



(注) 平均保有年数 = (前年度末残高 + 当該年度末残高) ÷ 2 ÷ (当該年度の解約額 + 償還額)



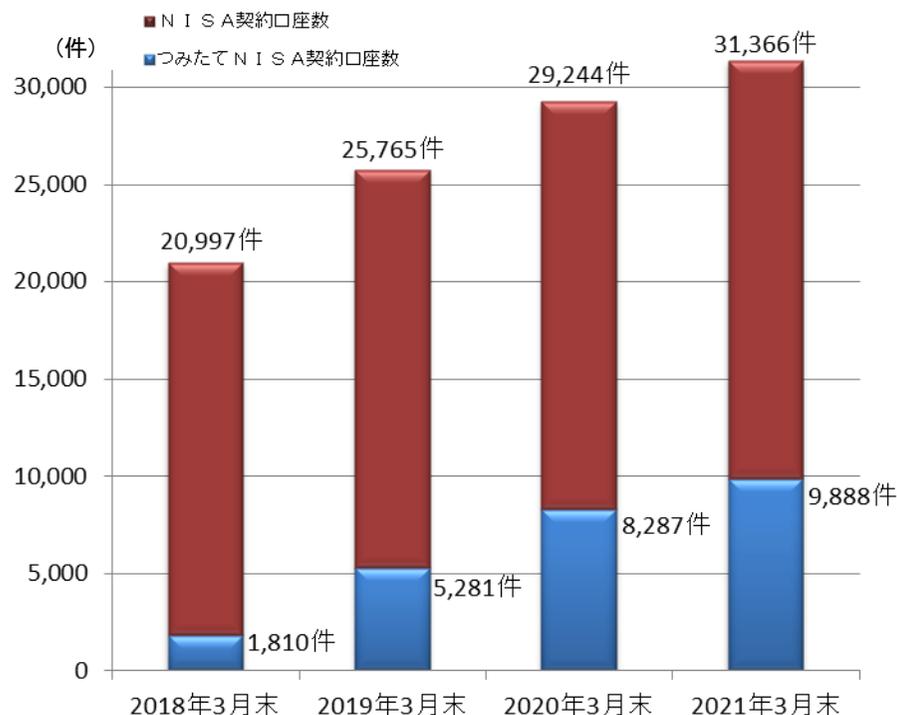
- 積立投信をご契約いただいているお客さまは2021年3月末時点で20,447名となり、前年度に比べ2,396名増加しました。
- また、積立投信の積立金額も増加傾向にあり、2021年3月における月間振替額は351百万円（前年同月比+127百万円）となりました。





- 当行を通じてNISAをご利用いただいているお客さまは順調に増加しており、2021年3月末時点のNISA口座数は31,366件となっております。
- このうち、2018年1月から開始された「つみたてNISA」は9,888件となっております、NISA・つみたてNISAいずれも東北の地方銀行において上位の契約口座数となっております。
- また、iDeCo(個人型確定拠出年金)をご契約いただいているお客さまについても着実に増加し2021年3月末時点で4,497件となり、長期・積立・分散投資の浸透がはかられております。

NISA契約口座数



iDeCo契約件数





当行では、お客さまの投資目的やリスク許容度などに応じて、適切な商品・サービスをお選びいただけるように、幅広い商品ラインナップを取り揃えております。

- 2020年度における投資信託の販売額は162億円、一時払生命保険の販売額は130億円となりました。
- 投資信託および一時払生命保険の販売上位商品は以下のとおりです。

### 投資信託の販売上位商品(2020年度)

順位	商品名	カテゴリー	運用会社	販売額 (百万円)	シェア
1	ひふみワールド+	株式	レオス・キャピタル	4,743	29.2%
2	グローバルMaaS(1年決算型)	株式	日興アセット	1,610	9.9%
3	グローバル・フィンテック株式ファンド	株式	日興アセット	1,276	7.9%
4	テトラ・エクイティ	株式	三井住友DSアセット	1,182	7.3%
5	ひふみプラス	株式	レオス・キャピタル	977	6.0%
6	Funds-i・日経225	株式	野村アセット	785	4.8%
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	株式	日興アセット	669	4.1%
8	クアトロ	バランス	ピクテ投信	529	3.3%
9	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	株式	三菱UFJ国際投信	523	3.2%
10	財産3分法ファンド(毎月分配型)	バランス	日興アセット	479	3.0%
全商品合計				16,228	100.0%

### 一時払生命保険の販売上位商品(2020年度)

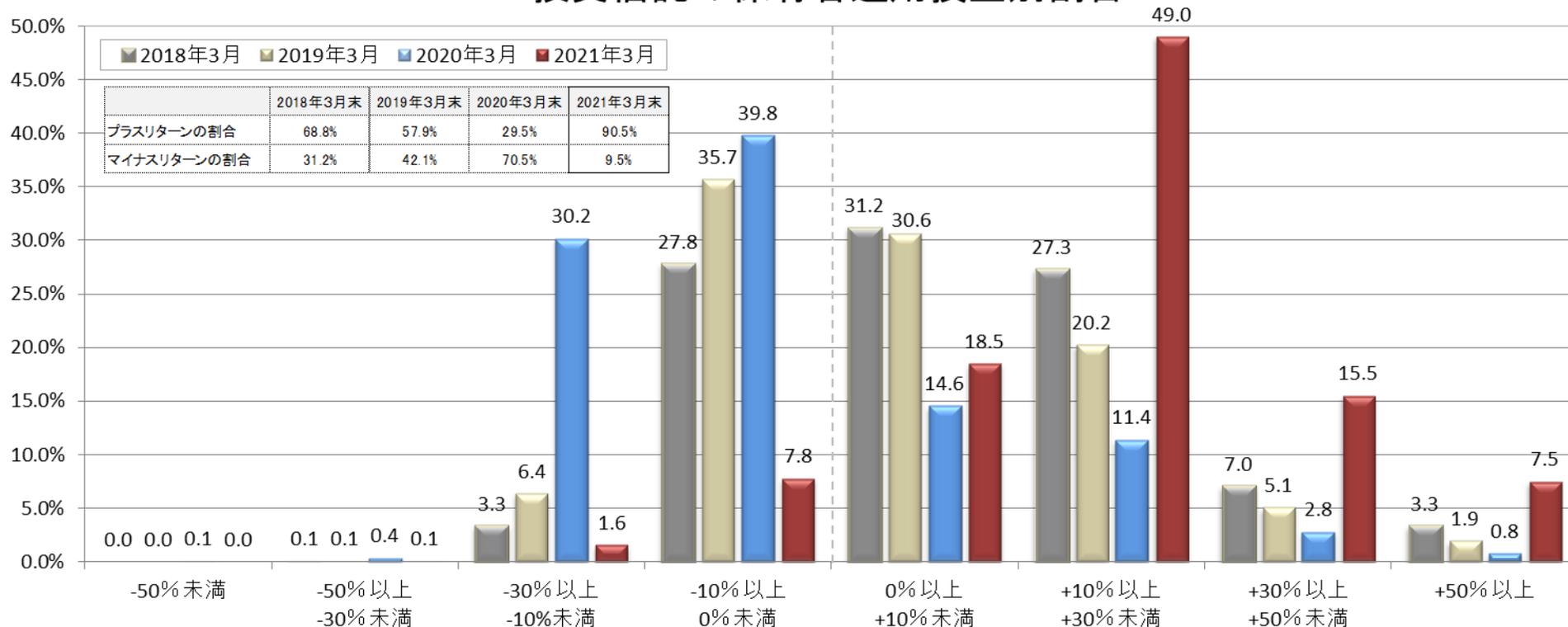
順位	商品名	カテゴリー	保険会社	販売額 (百万円)	シェア
1	エブリバディプラス	外貨建終身	明治安田生命	2,586	19.9%
2	ふるはーとJロードグローバルII	外貨建終身	住友生命	1,951	15.0%
3	えらべる外貨建一時払終身	外貨建終身	明治安田生命	1,922	14.8%
4	プレミアプレゼント2	外貨建終身	第一フロンティア生命	1,663	12.8%
5	しあわせ、ずっと2	外貨建終身	三井住友海上プライマリー生命	1,127	8.7%
6	ロングドリームGOLD3	外貨建終身	日本生命	943	7.2%
7	やさしさ、つなぐ2	外貨建終身	三井住友海上プライマリー生命	771	5.9%
8	悠々時間アドバンス	外貨建年金	ニッセイ・ウェルス生命	708	5.4%
9	あしたの、よろこび2	外貨建年金	三井住友海上プライマリー生命	444	3.4%
10	おおきな、まごころ	外貨建終身	三井住友海上プライマリー生命	403	3.1%
全商品合計				13,023	100.0%



投資信託をご購入いただいたお客さまの運用損益状況です。

- 2021年3月末におけるプラスリターンのお客さまの割合は、90.5%と前年度末対比+61.0ポイントと大きく増加しました。
- 2021年3月の株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、ワクチン接種の普及や追加経済対策の成立などにより米国を中心に上昇基調となり、株式に投資する大半のファンドでプラスリターンとなったことによるものです。

## 投資信託の保有者運用損益別割合





2021年3月末時点における当行を通じて保有いただいている投資信託の預り残高上位20銘柄です。

	商品名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
①	ひふみプラス	1.52	15.38	13.32
②	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	1.56	6.20	0.93
③	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16	13.98	4.60
④	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.05	8.66	5.95
⑤	インデックスファンド225	1.01	16.58	13.25
⑥	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.25	-1.33
⑦	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.15	19.38	-1.18
⑧	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.38	18.82	19.22
⑨	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	3.79	2.93
⑩	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.20	17.65	8.03
⑪	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	1.63	5.07	3.78
⑫	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.86	15.93	8.55
⑬	高金利先進国債券オープン(資産成長型)	1.56	6.20	0.91
⑭	BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)	1.82	4.13	-0.76
⑮	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.13	12.72
⑯	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	1.12	1.77	-0.17
⑰	DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)	1.65	15.91	4.97
⑱	野村インデックスファンド・日経225	0.44	16.57	13.41
⑲	コモンズ30ファンド	1.52	15.52	12.87
⑳	世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)	1.32	7.54	3.90

(注)1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象(現在募集停止している銘柄を含む。)

2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示

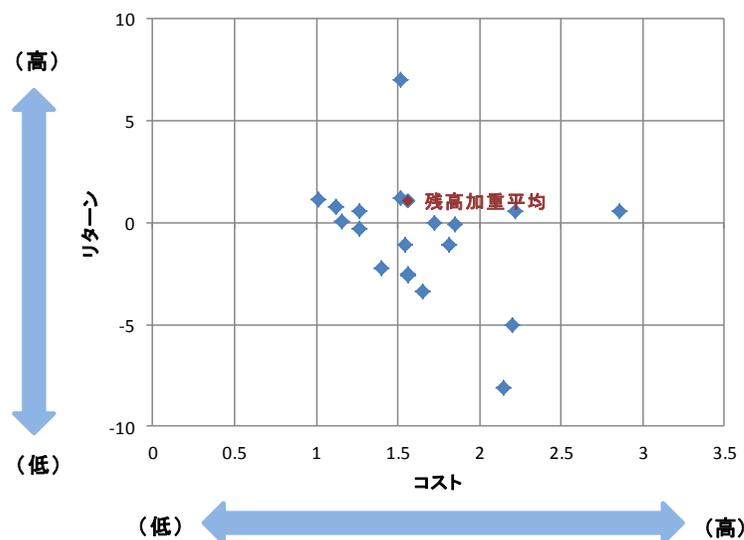
3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示

4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

当行の投資信託残高上位20銘柄におけるコストに対するリターンの実績です。

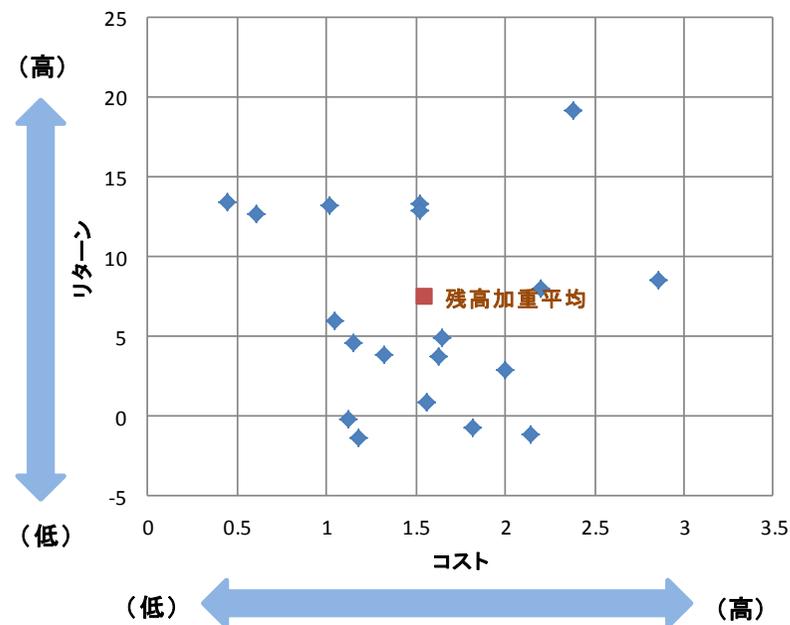
- 申込手数料改定の影響などから、平均コストは1.55%（前年度対比▲0.01ポイント）とわずかに低下しました。
- 2021年3月の株式市場は、日経平均株価が30年振りに3万円台に突入するなど相場回復し、平均リターンは7.44%（前年度対比+6.37ポイント）と大きく改善しました。

コスト・リターン（2020年3月末）



	コスト(%)	リターン(%)
残高加重平均値	1.56	1.07

コスト・リターン（2021年3月末）

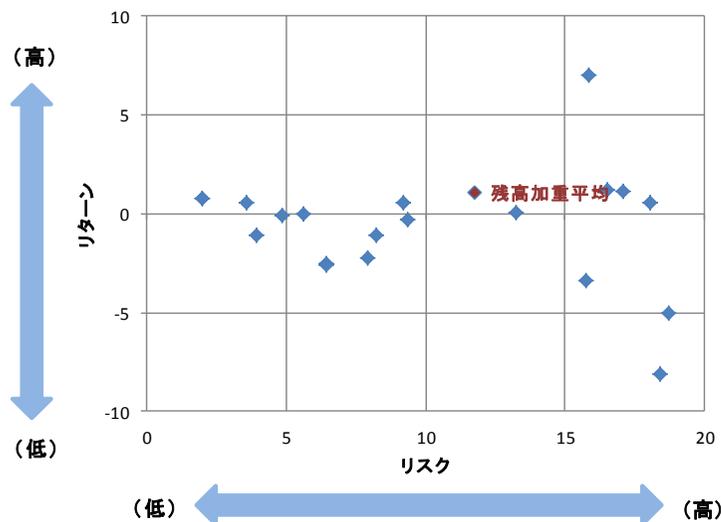


	コスト(%)	リターン(%)
残高加重平均値	1.55	7.44

当行の投資信託残高上位20銘柄におけるリスクに対するリターンの実績です。

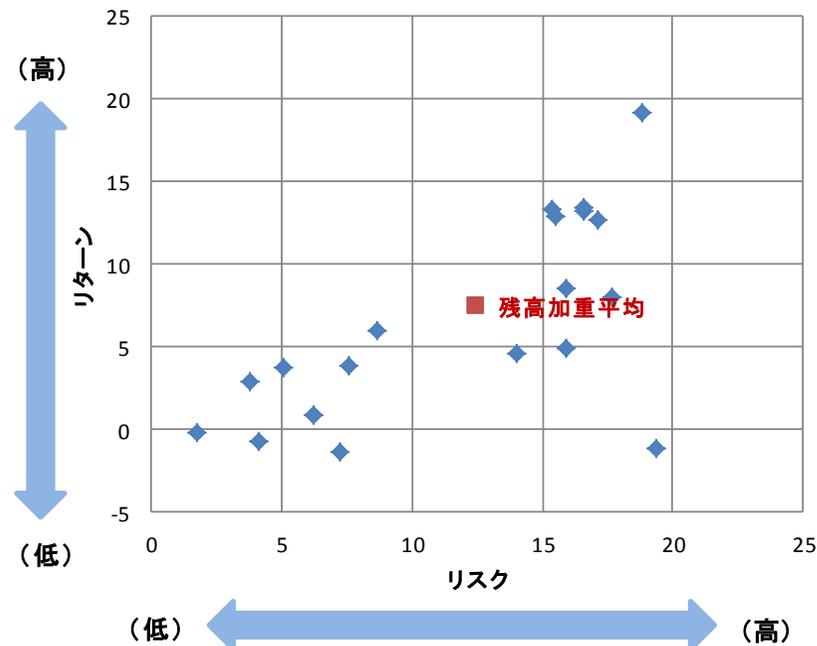
●新型コロナウイルス感染拡大などの影響により、残高上位銘柄の価格変動が大きくなったため、平均リスクは12.48%（前年度対比+0.73ポイント）と上昇しました。

リスク・リターン(2020年3月末)



	リスク(%)	リターン(%)
残高加重平均値	11.75	1.07

リスク・リターン(2021年3月末)



	リスク(%)	リターン(%)
残高加重平均値	12.48	7.44

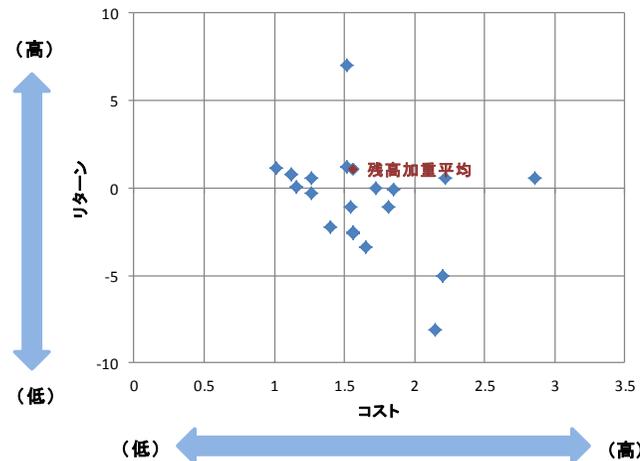


2020年3月末

商品名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
① ひふみプラス	1.52	15.86	6.98
② 高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	1.56	6.42	-2.55
③ トレンド・アロケーション・オープン	1.40	7.90	-2.22
④ 財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.27	9.21	0.54
⑤ MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16	13.24	0.04
⑥ ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.15	18.40	-8.10
⑦ インデックスファンド225	1.01	17.09	1.13
⑧ ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.22	3.58	0.54
⑨ アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.20	18.73	-5.02
⑩ ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	1.85	4.83	-0.11
⑪ 高金利先進国債券オープン(資産成長型)	1.56	6.42	-2.58
⑫ BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)	1.82	3.90	-1.06
⑬ 東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)	1.12	1.96	0.75
⑭ 東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	1.12	1.97	0.75
⑮ コモンズ30ファンド	1.52	16.50	1.20
⑯ グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.86	18.04	0.53
⑰ DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)	1.65	15.76	-3.37
⑱ 世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)	1.54	8.20	-1.12
⑲ スマート・ラップ・ジャパン(1年決算型)	1.72	5.60	-0.05
⑳ 世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.27	9.36	-0.28

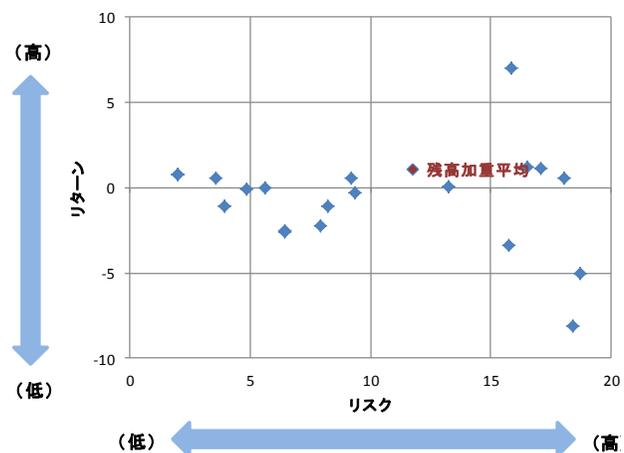
- (注)1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象(現在募集停止している銘柄を含む。)  
 2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示  
 3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示  
 4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



	コスト(%)	リターン(%)
残高加重平均値	1.56	1.07

■リスク・リターン



	リスク(%)	リターン(%)
残高加重平均値	11.75	1.07

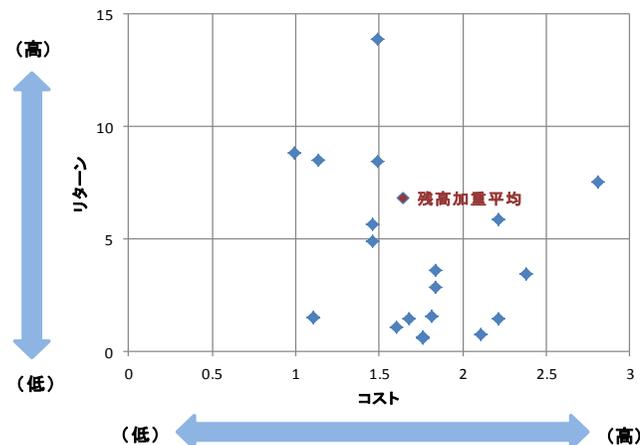


## 2019年3月末

	商品名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
①	ひふみプラス	1.49	15.03	13.87
②	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	1.76	6.96	0.65
③	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.21	13.99	5.87
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.13	8.73	8.51
⑤	トレンド・アロケーション・オープン	1.60	5.69	1.07
⑥	インデックスファンド225	0.99	15.70	8.82
⑦	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.38	15.73	3.46
⑧	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.46	8.05	4.90
⑨	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.22	3.03	1.47
⑩	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	1.81	4.19	1.58
⑪	高金利先進国債券オープン(資産成長型)	1.76	6.97	0.60
⑫	BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)	2.11	3.84	0.76
⑬	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	1.10	1.74	1.54
⑭	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)	1.10	1.74	1.54
⑮	DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)	1.84	13.56	3.61
⑯	世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)	1.84	8.54	2.86
⑰	コモンズ30ファンド	1.49	15.17	8.48
⑱	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.46	8.15	5.68
⑲	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.67	6.34	1.49
⑳	HSBC インド オープン	2.81	21.29	7.54

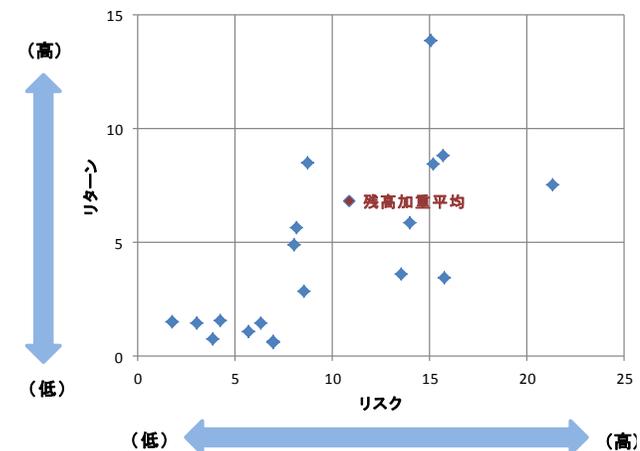
- (注)1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象(現在募集停止している銘柄を含む。)  
 2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示  
 3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示  
 4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

### ■コスト・リターン



	コスト(%)	リターン(%)
残高加重平均値	1.64	6.83

### ■リスク・リターン



	リスク(%)	リターン(%)
残高加重平均値	10.86	6.83

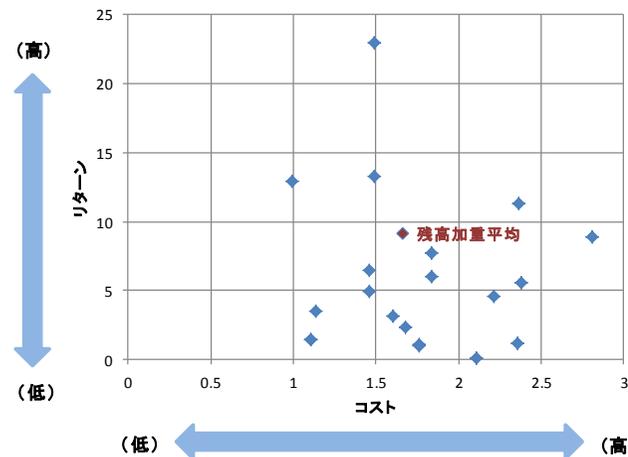


2018年3月末

	商品名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
①	ひふみプラス	1.49	14.03	22.96
②	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	1.76	8.33	1.06
③	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.21	14.17	4.61
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.13	13.25	3.55
⑤	トレンド・アロケーション・オープン	1.60	5.38	3.15
⑥	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.38	15.66	5.58
⑦	インデックスファンド225	0.99	16.18	12.96
⑧	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.46	9.25	4.98
⑨	高金利先進国債券オープン(資産成長型)	1.76	8.31	1.02
⑩	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	2.35	4.86	1.23
⑪	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	1.10	2.00	1.50
⑫	BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)	2.11	3.98	0.12
⑬	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)	1.10	1.99	1.50
⑭	DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)	1.84	13.37	7.70
⑮	世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)	1.84	9.22	6.01
⑯	コモズ30ファンド	1.49	14.07	13.32
⑰	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.46	8.30	6.46
⑱	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.67	7.59	2.31
⑲	HSBC インド オープン	2.81	24.29	8.94
⑳	株ちょファンド日本(高配当株・割安株・成長株)毎月分配型	2.36	14.71	11.29

- (注)1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象(現在募集停止している銘柄を含む。)  
 2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示  
 3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示  
 4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン

